

学科	全学科		学年	1	履修	必修
教科	国語	科目名 現代の国語	単位数	2	時数	70
教科書名（発行所）		新編現代の国語（東京書籍）	副教材（発行所）		改訂版 アシスト常用漢字（数研出版） 新編現代の国語学習課題ノート（東京書籍）	
目標	① 言語活動に必要な基礎学力を身に付け、的確な表現力を養う。 ② 他者の考え方に触れ、思考力を伸ばし、よりよい生き方に結びつける。					

学期	月	内容のまとめり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配 当 時 数	主な評価方法
					I	II	III		
1	4	話す・聞く	気になるニュース	・情報を整理し、内容や、構成に注意して話す。		○	○	7	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取組む姿勢、意欲、出欠 ・長期休業中の課題 ・定期考査、実力テスト 以上を点数化し、総合的に評価する。
	5	随想	こそめスープ	・随筆を通じ筆者独自の考え方・感じ方を読み取り、自分に重ね合わせる。	○	○		7	
	6	評論	未来をつくる想像力	・評論を通じ、筆者の考える「社会」はどのようなものか、意見の根拠を理解し、主張をつかむ。	○	○		7	
	7	書く	文章の要旨をまとめる	・分かりやすい文章を書くことができるように、また、文章を的確に読み取る力を付けることができるよう、文章の要点を把握する。	○		○	5	
2	8	書く	文章の要旨をまとめる	・ //	○		○	3	
	9	随想	無彩色の色	・効果的な具体例を用いることで自分の考えを分かりやすく伝えることが出来るという工夫を知る。	○	○		7	
	10	随想	無彩色の色	・筆者の挙げる例や主張から日本文化の一部分の特色を理解する。	○	○		7	
	11	評論	水の東西	・表論文の対比構造に触れ、文化の違いを理解するきっかけとする。	○	○		7	
	12	評論	水の東西	・東西の比較を通じて筆者が何を主張したいのか読み取る。	○	○	○	6	
3	1	随想	鍋洗いの日々	・筆者の体験と、行動に注目する。	○			6	
	2	随想	鍋洗いの日々	・筆者の体験と、行動に注目する。これからの自分たちと重ね合わせる。	○	○	○	6	
	3	書く	職業調べ	・自分の希望を分かりやすく表現する。	○	○	○	2	

[illegible]

学科	全学科		学年	1	履修	必修	
教科	国語	科目名	言語文化	単位数	1	時数	35
教科書名（発行所）		新編言語文化（東京書籍）		副教材（発行所）		改訂版 アシスト常用漢字（数研出版） 新編言語文化学習課題ノート（東京書籍）	
目標	① 伝統的な作品を読み、言語感覚を磨き、我が国の文化、言葉の価値を尊重する。 ② 様々な文章を読み、感性を豊かにする。						

学期	月	内容のまとめり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配 当 時 数	主な評価方法
					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
1	4	小説	とんかつ	・文章の種類を踏まえ、設定、構成、表現の特色をとらえる。	○	○		3	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取組む姿勢、意欲、出欠 ・長期休業中の課題 ・定期考査、実力テスト ・以上を点数化し、総合的に評価する。
	5	小説	とんかつ	・文章の種類を踏まえ、設定、構成、表現の特色をとらえる。会話や行動の描写に注目し、登場人文角状況、心情を読み取る。	○	○		3	
	6	古文入門	古文に親しむ 児のそら寝	・古文を学ぶことで我が国の文化の継承、創造について理解する。 ・歴史的仮名遣いを理解し、説話の面白さを読みとる。	○		○	4	
	7	古文・随筆	古文に親しむ 絵仏師良秀	・古文を学ぶことで我が国の文化の継承、創造について理解する。 ・歴史的仮名遣いを理解し、説話の面白さを読みとる。	○		○	4	
2	8	小説	羅生門	・登場人物の心情の変化を読み取り、主題を考える。	○	○		2	
	9	小説	羅生門	・ //	○	○		3	
	10	小説	羅生門	・物語の表現上の特色を読み味わい、その効果を知る。 ・登場人物を自分に置き換えて主題を考える。	○	○	○	3	
	11	漢文入門	訓読の基本	・漢文を読むための基礎知識を身に付け、漢字、漢文が我が国の文化の根底にあることを知る。	○	○	○	3	
	12	漢文入門	五十歩百歩	・故事成語の元となった話を読み、その話が語られた意図を理解し、我が国で故事成語の果たす役割を考える。	○		○	3	
3	1	古文・随筆	徒然草 【亀山殿の御池に】	・随想に表れる作者の考えをとらえる。	○		○	3	
	2	古文・随筆	徒然草 【奥山に猫またといふものありて】	・随想に表れる作者の考えをとらえる。	○		○	3	
	3	古文・随筆	徒然草 【奥山に猫またといふものありて】	・随想に表れる作者の考えをとらえる。	○		○	1	

[illegible]

学科	全学科	学年	2	履修	必修		
教科	国語	科目名	言語文化	単位数	1	時数	35
教科書名（発行所）	新編言語文化（東京書籍）			副教材（発行所）	総合演習 漢字とことば（中部日本教育文化会） 新編言語文化学習課題ノート（東京書籍）		
目標	① 伝統的な作品を読み、言語感覚を磨き、我が国の文化、言葉の価値を尊重する。 ② 様々な文章を読み、感性を豊かにする。						

学期	月	内容のまとめ	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配 当 時 数	主な評価方法
					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
1	4	小説	デューク	・文章の種類を踏まえ、設定、構成、表現の特色をとらえる。	○	○		3	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取組む姿勢、意欲、出欠 ・長期休業中の課題 ・定期考査、実力テスト ・以上を点数化し、総合的に評価する。
	5	小説	デューク	・文章の種類を踏まえ、設定、構成、表現の特色をとらえる。会話や行動の描写に注目し、登場人文角状況、心情を読み取る。	○	○		3	
	6	古文・物語	伊勢物語(芥川)	・古文を学ぶことで我が国の文化の継承、創造について理解する。 ・古典作品における和歌の重要性と、物語における効果を読みとる。	○		○	4	
	7	古文・物語	伊勢物語(筒井筒)	〃	○		○	4	
2	8	漢文	論語	・漢文を読むための基礎知識を身に付け、漢字、漢文が我が国の文化の根底にあることを知る。 ・各章の意味を的確に理解する。 ・論語の思想が日本文化にもたらした影響について理解する。	○	○		2	
	9	漢文	論語	・ 〃	○	○		3	
	10	小説	夢十夜	・物語の表現上の特色を読み味わい、その効果を知る。 ・登場人物を自分に置き換えて主題を考える。	○	○	○	3	
	11	小説	夢十夜	・ 〃	○	○	○	3	
	12	随想	「美しい」ということ	・随想の主題を的確に捉え、筆者の主張を理解し、自身の考えを深める。	○		○	3	
3	1	古文・紀行	おくのほそ道	・紀行文の読解を通じ、日本の伝統文化の根底にある芭蕉の美意識について知る。	○		○	3	
	2	古文・詩歌	折々のうた	・江戸時代から更に遡って日本詩歌の歴史を通観し、日本の伝統的な美意識に関心を深める。	○		○	3	
	3	詩歌	I was born	・現代の詩歌と古典的作品との比較を通じ、各時代における詩歌文学の意義を理解する。	○		○	1	

[illegible]

学科	全学科	学年	2	履修	必修		
教科	国語	科目名	文学国語	単位数	2	時数	70
教科書名（発行所）		精選文学国語（三省堂）		副教材（発行所）		総合演習 漢字とことば（中部日本教育文化会） 精選文学国語 学習辞語ノート（三省堂）現代を読む はじめての評論文20選 改訂版（明治書院） 読解演習 はじめての評論文20選 改訂版（明治書院）	
目標	（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 （２）深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						

学期	月	内容のまとまり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					I	II	III		
1	4	小説の言葉・詩の言葉	詩はいつでも近いところにある	・文学の言葉の特徴を理解し、文学に親しむ姿勢を養う。	○	○		6	
	5	評論	小説はどう読めばいいのか	・小説の読み方についての具体的な方法を述べた評論を読むことを通じ、テキスト読解の新たな視点を学ぶ。	○	○		6	
	6	小説	ひよこの眼	・登場人物の心情変化に注目し、作品の主題を理解する。 ・語りの方法に注目し、作品の展開にどのような効果を与えているか理解する。	○		○	8	
	7	小説	神様	・非現実的な設定の作品を分析し、小説世界を成り立たせるためにどのような工夫が行われているか理解する。	○		○	8	
2	8	小説	夏の花	・歴史的事実を踏まえた作品に触れ、出来事を整理しながら、文学が事実をどのように伝えているか考える。 ・戦争の惨禍について描いた作品を読み、平和の尊さについて考える。	○	○		4	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取組む姿勢、意欲、出欠 ・長期休業中の課題 ・定期考査、実力テスト ・以上を点数化し、総合的に評価する。
	9	小説	夏の花	//	○	○		6	
	10	戯曲の言葉	戯曲中の「対話」	・戯曲の対話と小説の会話の違いを理解する。 ・戯曲の言葉の特徴を理解する。	○	○		6	
	11	翻案	ありとぎりぎりす	・翻案作品を読んだ上で、実際に作品を創作する。	○	○	○	6	
	12	詩歌	今日・わたしを束ねないで・帰途	・随想の主題を的確に捉え、筆者の主張を理解し、自身の考えを深める。	○		○	6	
3	1	小説	こころ	・登場人物の心情変化に注目し、作品の主題を理解する。 ・表現方法に注目し、その意味するところを理解する。 ・登場人物の行動の理由について、話し合う。	○	○	○	6	
	2	小説	こころ	//	○	○	○	6	
	3	詩歌	短歌15首	・短歌の多様な表現を鑑賞し、作品について批評する。 ・自身で作品を創作し、批評し合う。	○		○	2	

[illegible]

令和6年度 「文学国語」 学習指導計画

学科	全学科			学年	3	履修	必修
教科	国語	科目名	文学国語	単位数	2	時数	70
教科書名（発行所）		精選文学国語（三省堂）		副教材（発行所）		国語必修ライトパーフェクト演習（他文出版） 精選文学国語 学習課題ノート（三省堂） 現代を読む はじめての評論文20選 改訂版(明治書院) 読解演習 はじめての評論文20選 改訂版(明治書院)	
目標	（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 （２）深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						

(注) 評価の観点とは、Ⅰ「知識・技能」Ⅱ「思考・判断・表現」Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめ	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					I	II	III		
1	4	読むこと・書くこと・語ること	本を読むと路に迷う	・筆者のとしての読書の「幸福」とは何かを理解し、自分の読書体験も振り返る。	○	○	○	6	
	5	小説	ヘル・エボック	・登場人物の心情を読み取り、作品の主題を理解する。 ・語りの方法に注目し、作品の展開にどのような効果を持っているか理解する。	○	○		6	
	6	評論	文学の仕事	・表現や構成に注意して評論を読み、筆者のいう「文学の力」について考えをまとめる。	○	○	○	8	
	7	詩歌	俳句十五句	・俳句の多様な表現を鑑賞し、作品について批評する。 ・自身で作品を創作し、批評し合う。	○	○	○	8	
2	8	評論	小説はどう読めばいいのか？ ー太宰治『斜陽』の語り口	・語り口の分析を通して小説の読み方の理解を深める。 ・筆者は『斜陽』の文章の特徴をどのように説明しているか、まとめる。	○	○		4	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取組む姿勢、意欲、出欠 ・長期休業中の課題 ・定期考査、実力テスト ・以上を点数化し、総合的に評価する。
	9	評論	小説はどう読めばいいのか？ ー太宰治『斜陽』の語り口	〃	○	○		6	
	10	小説	山月記	・登場人物の心情を表現に即して理解する。 ・主人公の内面と苦悩について考えを深める。	○	○	○	6	
	11	小説	山月記	〃	○	○	○	6	
	12	翻訳の言葉	涙の贈り物	・登場人物の立場を理解してその心情を読み取る。 ・特徴的な文体や表現の特色から、翻訳小説の魅力について話し合う。	○	○	○	6	
3	1	翻訳の言葉	涙の贈り物	〃	○	○	○	6	
	2	詩歌	永訣の朝・ギリシャ的抒情詩・のちのおもひに	・表現形式や修辞の効果に着目し、それぞれの詩の理解を深める。	○	○		6	
	3	詩歌	永訣の朝・ギリシャ的抒情詩・のちのおもひに	〃	○	○		2	

70

【観点別評価】

【観点別評価】													
評価項目・対象	講義	演習	実験・実習	定期考査	実技・小テスト	ノート・レポート	課題・作品	発言	プレゼン	検定・資格	その他	観点別合計	評価の比重
I 知識・技能	25			65		5	5					100	70
II 思考・判断・表現	25			65		5	5					100	20
III 主体的に学習に取り組む態度	25			65		5	5					100	10
評価の重点	①授業や課題に取り組む意欲・態度 ②定期テストの結果と提出課題												

学科	商業科・生活福祉科・食物栄養科			学年	3	履修	選択
教科	国語	科目名	応用国語	単位数	2	時数	70
教科書名（発行所）		国語表現（大修館書店）		副教材（発行所）		国語表現 基礎練習ノート（大修館書店）	
目標	・進路活動や実社会での活動に向けて、漢字・語句・語彙力を確実に身につけ、さらに文章を中心とした表現能力を養う。また、ショートスピーチや小論文の作成・添削も行う。						

学期	月	内容のまとまり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					I	II	III		
1	4	1. 書いて伝える(1)	レッスン1 整った文章を書く	整ったわかりやすい文の書き方を学ぶ。 ・表記と言葉 ・係り受け ・文末表現の統一 ・適切な敬語 ・話し言葉と書き言葉	○	○	○	14	
	5								
	6	2. 自己PRと面接	レッスン1 自分を見つめて レッスン2 声とコミュニケーション	自分を他者にアピールする力を身につける。 ・人生を見つめる ・長所、短所を見つめる ・効果的な自己PR ・ショートスピーチ ・志望動機をまとめよう ・面接の準備（模擬面接）	○	○	○	15	
	7								
2	8								・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取組む姿勢、意欲、出欠 ・提出物 ・定期考査 以上を点数化し、総合的に評価する。
	9	3. 書いて伝える(2)	レッスン2 わかりやすい文を書く レッスン3 文のつながり方	読みやすく、わかりやすい文の書き方を学ぶ。 ・長すぎる文を短文に ・読点を効果的に使う ・あいまいな文を避ける ・接続表現でつなぐ ・文脈でつなぐ	○	○	○	14	
	10								
	11	4. 書いて伝える(3)	小論文入門	小論文とは何かを理解し、その基本的な書き方を学ぶ。 ・小論文とは ・小論文の作成	○	○	○	7	
3	12	5. 書いて伝える(4)	自分史の作成	自分の人生を振り返り、自分のことをより深く理解する。また、今後の人生の参考にする。 適切な情報を集め、読み取った情報を活用する。	○	○	○	20	
	1								
	2								
	3								

[illegible]